

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 全国高等学校総合文化祭開催準備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 県民文化局 文化祭推進事務局 全国高等学校総文祭推進課 事業推進係 電話番号：058-272-1111(内3192)

E-mail：c11154@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 496,615 千円 (前年度予算額： 89,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	89,000	0	0	0	0	0	0	0	89,000
要求額	496,615	0	0	0	0	0	50,000	0	446,615
決定額	470,422	0	0	0	0	0	50,000	0	420,422

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

令和6年度、各都道府県代表高校生による芸術文化活動の祭典である全国高等学校総合文化祭を本県で開催する。(大会愛称：清流の国ぎふ総文2024)

当該文化祭は、文化活動を通じて、高校生の創造活動の向上や、全国及び海外の高校との相互交流を深めることを目的に、各都道府県代表高校生による芸術文化活動の祭典として開催し、文化部活動への愛を深め(「愛する」)、全国や世界の仲間とながり(「つなげる」)、岐阜県の文化の魅力を全国や世界に伝える(「伝える」)ことができる大会としていく。

(2) 事業内容

清流の国ぎふ総文2024のための準備及び大会の開催

- ・開会行事の開催(総合開会式、パレード)
- ・部門別大会の開催
 - …県内15市町で全22部門の大会を開催(規定部門19部門、協賛部門3部門)
- ・機運醸成のための広報の推進(PR用品制作、公式HPでの情報発信等)
- ・国際交流事業の実施(海外の高校生との文化交流)

(3) 県負担・補助率の考え方

全国高等学校総合文化祭は、県の文化振興の主要プロジェクトとして岐阜県が実施するため、県10/10が妥当。(県と同様に主催者である文化庁委託金に相当する経費負担等は財源内訳「その他」で収入)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	5,276	大会準備及び開催に係る旅費
需用費	720	事務消耗品等
役員費	360	通信運搬費
使用料及び賃借料	96	公用車ETC等
負担金、補助及び交付金	490,163	清流の国ぎふ総文2024実行委員会負担金
合計	496,615	

決定額の考え方

先催県の実績平均を参考に、事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○清流の国ぎふ創生総合戦略

[3 地域にあふれる魅力と活力づくり] - [(1) 地域の魅力・清流文化の創造・伝承・発信] - [①「清流の国ぎふ」の文化・芸術の創造・伝承・発信]

(2) 国・他県の状況

令和3年度開催 和歌山県
令和4年度開催 東京都
令和5年度開催 鹿児島県
令和7年度開催 香川県

(3) 事業主体及びその妥当性

全国高等学校総合文化祭の主催者は、開催都道府県、文化庁、県高等学校文化連盟等

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

本大会の開催を通じて、高校生の創造活動の向上や生徒間の交流を図り、高校生の文化部活動の活性化につなげるとともに、鑑賞者も含めた県民全体の芸術文化活動の機会創出と育成を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
①高校文化活動に取り組む生徒の割合	17.9%	17.4	17.7	18.0	18.3	
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 先催県から情報収集を行い、開催に向けての業務の明確化、各部門の課題の洗い出しができた。 開催会場候補市町村との調整を進め、開催会場計画を作成した。 未設置部門について、他県先進校の活動や県総文祭における部門運営等を視察し、次年度以降に向けて開催手法を学ぶことができた。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 開催準備委員会を開催し、実施運営等の開催準備を進めることができた。 大会テーマ、イメージソング等を公募・決定し、広報活動を進めた。
	指標① 目標：17.4 実績：17.4 達成率：100%
令和4年度	6月に県実行委員会を設立した。その後、生徒実行委員会や業務別委員会等を立ち上げたほか、先催県大会の視察（東京都本大会、鹿児島県プレ大会）、大会のPRイベントを開催した。
	指標① 目標：17.7 実績：17.7 達成率：100 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	各都道府県が持ち回りで開催する事業であり、主催は文化庁、(公社)全国高等学校文化連盟、県高等学校文化連盟、県、県教育委員会、開催地市町及び開催地市町教育委員会である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	令和5年度鹿児島大会の総合開会式やパレード及び部門を視察したほか、プレ大会を開催することで、本大会に向けた課題等を把握している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	視察や先催県から情報収集した結果を高文連や高文連各部門と共有し、開催に向けた準備を着実に進めている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 大会開催に向けた機運醸成のため、大会を広く周知していく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 本大会開催・成功に向けて着実に段階を踏んで準備を継続していくとともに、大会を契機とした文化芸術活動を通じた創造活動を推進していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】